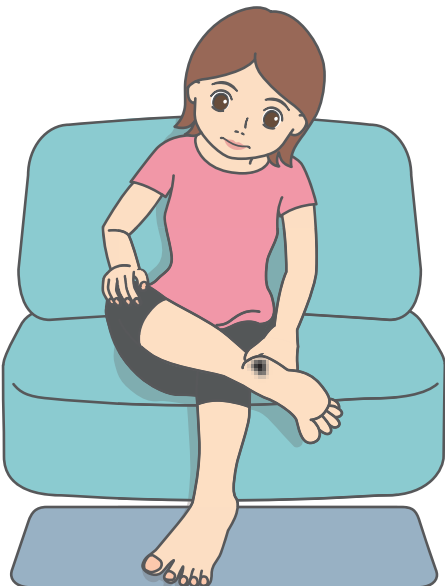


足裏のホクロがメラノーマでは?と気になります
ダーモスコピー検査でブラックヒールとの鑑別を
立川皮膚科クリニック
www.tachikawa-derma.com



足の裏にできるホクロには治療が必要なものもあります

突然足の裏にできるホクロについて「立川皮膚科クリニック」の伊東秀記院長に聞きました。

「近年、テレビなどでも足の裏にできるホクロの危険性が紹介されて、一般にも知名度があがっているメラノーマ。他の部位にできるホクロより悪性度の高い皮膚がんである可能性が高く、進行・転移のスピードが早い」ため早期発見が大切で

「ダーモスコピー」という専用の拡大鏡で、皮膚に明るい白光を照射しながら10〜50倍程度拡大して、肉眼ではメラノーマと区別がつかないで、自己判断は禁物です。足の裏のホクロに気づいたら早めに皮膚科の受診を

突然足の裏にできるホクロについて「立川皮膚科クリニック」の伊東秀記院長に聞きました。

「近年、テレビなどでも足の裏にできるホクロの危険性が紹介されて、一般にも知名度があがっているメラノーマ。他の部位にできるホクロより悪性度の高い皮膚がんである可能性が高く、進行・転移のスピードが早い」ため早期発見が大切で

「ダーモスコピー」という専用の拡大鏡で、皮膚に明るい白光を照射しながら10〜50倍程度拡大して、肉眼ではメラノーマと区別がつかないで、自己判断は禁物です。足の裏のホクロに気づいたら早めに皮膚科の受診を

突然足の裏にできるホクロについて「立川皮膚科クリニック」の伊東秀記院長に聞きました。

「近年、テレビなどでも足の裏にできるホクロの危険性が紹介されて、一般にも知名度があがっているメラノーマ。他の部位にできるホクロより悪性度の高い皮膚がんである可能性が高く、進行・転移のスピードが早い」ため早期発見が大切で

「ダーモスコピー」という専用の拡大鏡で、皮膚に明るい白光を照射しながら10〜50倍程度拡大して、肉眼ではメラノーマと区別がつかないで、自己判断は禁物です。足の裏のホクロに気づいたら早めに皮膚科の受診を

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業、東京慈恵会医科大学皮膚科非常勤講師

問い合わせ
☎042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで受け付け	17:30まで受け付け

2015年5月30日付 「リビング多摩」に掲載されました